

統計ニュース

〈報道各紙掲載記事より抜粋〉

《国内・国際》

7/4 宅配便 初の減少

宅配便の取扱個数が 08 年度に前年度比 0.6 %減の約 32 億 1 千万個となり、84 年度の調査開始以来初めて減少に転じた。国土交通省が 3 日発表した。既存サービスの市場が飽和状態に近づきつつあるところへ、不況が追い打ちをかけた。

7/17 日本人 寿命さらに長く

日本人の平均寿命は女性が 86.05 歳、男性が 79.29 歳となり、男女とも過去最高を更新したことが 16 日、厚生労働省の 2008 年「簡易生命表」で分かった。女性は 0.06 歳、男性も 0.1 歳、前年より延びた。男性はがん、女性は脳血管疾患の死亡が少なくなったのが寄与した。女性は 24 年連続長寿世界一で、男性は 07 年の 3 位から 4 位に下がった。

7/18 昨年度医療費 3 4 兆円

厚生労働省は 17 日、08 年度の概算医療費総額が 34 兆 600 億円で過去最高を更新したと発表した。前年度からの増加率は 1.9 % (6192 億円) だが、08 年度は診療報酬が 0.82 %引き下げられており、同省は、実質的な伸び率は例年並みの 3 %程度だったとしている。

概算医療費は、保険料と税金で支払われた医療費と患者が窓口で支払った自己負担の総額。03 年度から 6 年連続増加している。

7/29 空き家率 1 3 % 最高更新

総務省が 28 日にまとめた 2008 年の住宅・土地統計調査(速報)によると、昨年 10 月 1 日現在の住宅の全国総数 5759 万戸中、空き家の割合は 13.1 %を占め、前回 03 年調査を 0.9 ポイント上回り、過去最高を更新した。また 65 歳以上の高齢単身世帯も前回調査から 22.4 %増の 414 万世帯で過去最高となった。

7/31 鉱工業指数 4 カ月連続上昇

企業の生産活動が回復を続けている。経済産業省が 30 日発表した 6 月の鉱工業生産指数は前月比 2.4 %上昇し、4 カ月連続で前月を上回った。在庫調整が一巡し、中国など新興国向け輸出が回復していることを受け、生産は持ち直してきた。

6 月の鉱工業生産指数 (05 年 = 100、季節調整済み、速報値) は 81.0。業種別にみると、好調だったのは前月比 12.5 %増となった電子部品・デバイス工業で、ゲームや携帯電話向け半導体が伸びた。自動車向け鋼板などが好調だった鉄鋼業も前月を 10.1 %上回った。

《県内》

7/2 0 9 年路線価 県内 1 1 年連続下落

広島国税局は 1 日、相続税や贈与税の算定基準となる 2009 年分の山口県内の路線価と評価倍率(いずれも 1 月 1 日現在)を公表した。路線価などの評定に必要な県内 4970 地点の標準宅地の評価基準額の平均は 1 平方メートル当たり 4 万円で、前年と比べ 2 千円 (4.8 %)減り 11 年連続の下落。県内 11 税務署管内の最高路線価は、山口税務署管内の山口市小郡黄金町「県道山口阿知須宇部線通り」を除く 10 税務署で前年を下回った。

7/11 県税収 1 0 8 億円ダウン

2008 年度の県税収入が、07 年度より 108 億円少ない 1904 億円にとどまったことが 10 日、分かった。過去最高を記録した 07 年度から一転、急激な景気悪化で法人 2 税が 5 年振りに減少したのが響いた。09 年度当初予算の県税収入は過去最大の減少率を見込んでいるが、さらに下回る情勢となっており、県は危機感を強めている。

7/17 民間賃上げ平均 4 7 3 2 円

県は 16 日、県内民間事業所の春季賃上げ要求・妥結状況について、6 月 30 日現在の最終調査結果を発表した。調査対象 200 組合のうち定昇込みで妥結したのは 8 6 組合で、平均妥結額(組合員数による加重平均)は前年比 7.2 %減の 4732 円、賃上げ率は同 0.14 ポイント減の 1.58 %だった。平均妥結額と賃上げ率が前年を下回るのはいずれも 2003 年以来 6 年ぶり。